

令和2年度帯広市水道・下水道事業会計 予算（案）

<水道事業会計>

・収益的収支（税込）

水道事業 1

簡易水道事業 2

・資本的収支（税込）

水道事業 3

簡易水道事業 4

<下水道事業会計>

・収益的収支（税込）

下水道事業 5

農村下水道事業 6

・資本的収支（税込）

下水道事業 7

農村下水道事業 8

帯広市上下水道部

令和2年度

水道事業会計

水道事業

令和2年度予算額(収益的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額①	令和元年度 予算額②	増減 ①-②	主な増減理由
水道事業収益	4,525,991	4,422,574	103,417	
営業収益	4,251,448	4,173,473	77,975	
給水収益 (水道料金)	3,861,050	3,782,586	78,464	使用水量の増
(分水料金)	3,861,050	3,757,341	103,709	使用水量の増
		25,245	皆減	簡易水道事業との一元化による皆減
他会計負担金	178,219	173,560	4,659	
負担金	106,106	106,228	△122	
手数料	21,328	20,733	595	
補償金	2,990	2,400	590	
その他営業収益	81,755	87,966	△6,211	簡易水道料金等徴収事務受託料の皆減
営業外収益	274,543	249,101	25,442	
受取利息及び配当金	128	109	19	
他会計負担金	3,073	3,083	△10	
長期前受金戻入	238,473	223,981	14,492	受贈財産評価額収益化分増
雑収益	32,869	21,928	10,941	分水負担金の皆増

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額③	令和元年度 予算額④	増減 ③-④	主な増減理由
水道事業費用	3,806,389	3,837,149	△30,760	
営業費用	3,421,922	3,535,452	△113,530	
原水及び浄水費	1,033,908	1,292,386	△258,478	受水費の減
配水費	78,716	79,530	△814	
給水費	16,223	19,127	△2,904	
業務費	126,111	151,906	△25,795	会計年度任用職員制度の導入による報酬・賃金等の減
総係費	41,966	52,378	△10,412	会計年度任用職員制度の導入による増
職員給与費	458,759	389,970	68,789	会計年度任用職員制度の導入による増
減価償却費	1,564,522	1,487,326	77,196	有形固定資産分の増
資産減耗費	101,717	62,829	38,888	量水器等除却の増
営業外費用	381,467	298,697	82,770	
支払利息及び企業債取扱諸費	243,228	269,200	△25,972	高金利企業債残高減による減
消費税及び地方消費税	131,281	22,202	109,079	建設改良費の減による増
雑支出	6,958	7,295	△337	
予備費	3,000	3,000	0	
予備費	3,000	3,000	0	

※令和2年度水道事業収支差 (税込額) 収益 4,525,991千円 - 費用 3,806,389千円 = 719,602千円
(税抜額) 収益 4,156,663千円 - 費用 3,558,780千円 = 597,883千円(純利益)

簡易水道事業

令和2年度予算額(収益的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ①	令和元年度 予算額 ②	増減 ①-②	主な増減理由
簡易水道事業収益	302,184	-	皆増	水道事業との一元化による皆増
営業収益	152,922	-	皆増	
給水収益	143,773	-	皆増	
他会計負担金	5,738	-	皆増	
負担金	2,811	-	皆増	
手数料	426	-	皆増	
補償金	150	-	皆増	
その他営業収益	24	-	皆増	
営業外収益	145,907	-	皆増	
長期前受金戻入	145,801	-	皆増	
雑収益	106	-	皆増	
特別利益	3,355	-	皆増	
その他特別利益	3,355	-	皆増	

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ③	令和元年度 予算額 ④	増減 ③-④	主な増減理由
簡易水道事業費用	355,083	-	皆増	水道事業との一元化による皆増
営業費用	344,586	-	皆増	
原水及び浄水費	67,784	-	皆増	
配水費	13,143	-	皆増	
給水費	4,455	-	皆増	
業務費	5,388	-	皆増	
総係費	1,347	-	皆増	
職員給与費	19,642	-	皆増	
減価償却費	232,827	-	皆増	
営業外費用	9,102	-	皆増	
支払利息及び企業債取扱諸費	8,969	-	皆増	
雑支出	133	-	皆増	
特別損失	1,395	-	皆増	
その他特別損失	1,395	-	皆増	

※令和2年度簡易水道事業収支差 (税込額) 収益 302,184千円 - 費用 355,083千円 = △52,899千円
 (税抜額) 収益 288,848千円 - 費用 347,662千円 = △58,814千円(純損失)

※令和2年度水道事業会計収支差 (税込額) 収益 4,828,175千円 - 費用 4,161,472千円 = 666,703千円
 (水道事業・簡易水道事業 合計) (税抜額) 収益 4,445,511千円 - 費用 3,906,442千円 = 539,069千円(純利益)

水道事業

令和2年度予算額(資本的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ①	令和元年度 予算額 ②	増減 ①-②	主な増減理由
水道事業資本的収入	614,291	1,595,924	△981,633	
企業債	579,400	1,398,600	△819,200	
建設企業債	579,400	1,398,600	△819,200	建設改良費の減
負担金	29,321	37,324	△8,003	
負担金	29,321	37,324	△8,003	消火栓移設更新負担金の減
補償金	5,570	160,000	△154,430	
補償金	5,570	160,000	△154,430	配水管移設補償金の減

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ③	令和元年度 予算額 ④	増減 ③-④	主な増減理由
水道事業資本的支出	2,653,614	3,679,646	△1,026,032	
建設改良費	1,599,377	2,651,757	△1,052,380	
固定資産取得費	37,826	22,811	15,015	備品購入の増
配水管整備事業費	782,068	1,361,137	△579,069	管路近代化事業の減
量水器整備事業費	434,499	366,239	68,260	量水器更新の増
施設整備費	259,984	818,763	△558,779	稲田浄水場設備更新の減
職員給与費	85,000	82,807	2,193	
償還金	1,053,737	1,027,389	26,348	
企業債償還金	1,053,737	1,027,389	26,348	償還残高増による増
予備費	500	500	0	
予備費	500	500	0	

※令和2年度水道事業収支差 (税込額) 収入 614,291千円 - 支出 2,653,614千円 = △2,039,323千円

◎水道事業内部留保資金残高

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	1,776,103千円	2,161,128千円	3,937,231千円	2,039,323千円	1,897,908千円
説明	過年度分の損益勘定留保資金(前年までに発生した減価償却費、資産減耗費など)	当年度分の損益勘定留保資金(減価償却費、資産減耗費など) 当年度純利益など	R元末残高+R2発生額	補てんを要する、資本的収支不足額	差し引き、次年度に繰り越す補てん可能財源

簡易水道事業

令和2年度予算額(資本的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ①	令和元年度 予算額 ②	増減 ①-②	主な増減理由
簡易水道事業資本的収入	87,597	-	皆増	水道事業との一元化による皆増
企業債	69,800	-	皆増	
建設企業債	69,800	-	皆増	
出資金	17,797	-	皆増	
出資金	17,797	-	皆増	

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額 ③	令和元年度 予算額 ④	増減 ③-④	主な増減理由
簡易水道事業資本的支出	116,061	-	皆増	水道事業との一元化による皆増
建設改良費	82,795	-	皆増	
固定資産取得費	613	-	皆増	
配水管整備事業費	30,591	-	皆増	
量水器整備事業費	3,524	-	皆増	
施設整備費	39,640	-	皆増	
職員給与費	8,427	-	皆増	
償還金	33,266	-	皆増	
企業債償還金	33,266	-	皆増	

※令和2年度簡易水道事業収支差 (税込額) 収入 87,597千円 - 支出 116,061千円 = △28,464千円

◎簡易水道事業内部留保資金残高

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	9,619千円	34,954千円	44,573千円	28,464千円	16,109千円
説明	過年度分の繰越金	当年度分の損益勘定留保資金(減価償却費など) 当年度純利益など	R元末残高+R2発生額	補てんを要する、資本的収支不足額	差し引き、次年度に繰り越す補てん可能財源

※令和2年度水道事業会計(水道事業・簡易水道事業 合計)収支差 (税込額) 収入 701,888千円 - 支出 2,769,675千円 = △2,067,787千円

◎水道事業会計内部留保資金残高

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	1,785,722千円	2,196,082千円	3,981,804千円	2,067,787千円	1,914,017千円

令和2年度

下水道事業会計

下水道事業

令和2年度予算額(収益的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額①	令和元年度 予算額②	増減 ①-②	主な増減理由
下水道事業収益	5,087,963	5,034,949	53,014	
営業収益	3,917,543	3,857,886	59,657	
下水道使用料	2,928,192	2,871,578	56,614	消費税の増による増
他会計負担金	803,231	793,975	9,256	雨水処理負担金の増
他会計補助金	150,530	154,608	△4,078	
貸付金元金収入	4,000	5,000	△1,000	
受託事業収益	0	270	皆減	
その他営業収益	31,590	32,455	△865	
営業外収益	1,170,420	1,177,063	△6,643	
受取利息及び配当金	46	32	14	
他会計補助金	93,904	93,663	241	
長期前受金戻入	1,075,739	1,082,689	△6,950	受益者負担金収益化分減
雑収益	731	679	52	

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額③	令和元年度 予算額④	増減 ③-④	主な増減理由
下水道事業費用	4,433,294	4,454,398	△21,104	
営業費用	3,914,198	3,920,824	△6,626	
管渠費	420,087	427,938	△7,851	管渠委託料の減
水質指導費	607	588	19	
処理場費	321,270	321,771	△501	
普及促進費	8,276	11,765	△3,489	
業務費	156,959	150,675	6,284	共通経費負担金の増
総係費	26,145	30,143	△3,998	
職員給与費	141,178	134,159	7,019	会計年度任用職員制度の導入による増
流域下水道管理費	486,994	490,479	△3,485	
減価償却費	2,338,066	2,335,864	2,202	
資産減耗費	14,616	17,442	△2,826	
営業外費用	516,096	530,574	△14,478	
支払利息及び企業債取扱諸費	374,445	428,448	△54,003	償還残高減による減
消費税及び地方消費税	138,628	99,099	39,529	下水道使用料の増による増
雑支出	3,023	3,027	△4	
予備費	3,000	3,000	0	
予備費	3,000	3,000	0	

※令和2年度下水道事業収支差

(税込額) 収益 5,087,963千円 - 費用 4,433,294千円 = 654,669千円

(税抜額) 収益 4,819,571千円 - 費用 4,203,142千円 = 616,429千円(純利益)

農村下水道事業

令和2年度予算額(収益的収支) (税込)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額①	令和元年度 予算額②	増減 ①-②	主な増減理由
農村下水道事業収益	136,027	-	皆増	下水道事業との一元化による皆増
営業収益	76,109	-	皆増	
下水道使用料	29,104	-	皆増	
他会計負担金	46,705	-	皆増	
貸付金元金収入	300	-	皆増	
営業外収益	57,358	-	皆増	
他会計補助金	41,835	-	皆増	
長期前受金戻入	15,473	-	皆増	
雑収益	50	-	皆増	
特別利益	2,560	-	皆増	
その他特別利益	2,560	-	皆増	

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額③	令和元年度 予算額④	増減 ③-④	主な増減理由
農村下水道事業費用	132,263	-	皆増	下水道事業との一元化による皆増
営業費用	120,949	-	皆増	
管渠費	3,123	-	皆増	
処理場費	7,859	-	皆増	
浄化槽費	43,282	-	皆増	
普及促進費	512	-	皆増	
業務費	3,729	-	皆増	
総係費	951	-	皆増	
職員給与費	9,242	-	皆増	
減価償却費	52,251	-	皆増	
営業外費用	10,634	-	皆増	
支払利息及び企業債取扱諸費	10,470	-	皆増	
雑支出	164	-	皆増	
特別損失	680	-	皆増	
その他特別損失	680	0	皆増	

※令和2年度農村下水道事業収支差

(税込額) 収益 136,027千円 - 費用 132,263千円 = 3,764千円

(税抜額) 収益 133,382千円 - 費用 127,320千円 = 6,062千円(純利益)

※令和2年度下水道事業会計収支差

(税込額) 収益 5,223,990千円 - 費用 4,565,557千円 = 658,433千円

(下水道事業・農村下水道事業 合計)

(税抜額) 収益 4,952,953千円 - 費用 4,330,462千円 = 622,491千円(純利益)

下水道事業

令和2年度予算額(資本的収支) (税込)

(単位:千円)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額①	令和元年度 予算額②	増減 ①-②	主な増減理由
下水道事業資本的収入	964,664 (964,664)	1,048,409 (1,063,609)	△83,745 △98,945	
企業債	541,600 (541,600)	665,000 (680,200)	△123,400 △138,600	
建設企業債	541,600 (541,600)	665,000 (680,200)	△123,400 △138,600	建設改良費の減
国庫補助金	221,800	182,000	39,800	
社会資本整備総合交付金	221,800	182,000	39,800	補助対象事業の増
他会計出資金	197,687	195,497	2,190	
他会計出資金	197,687	195,497	2,190	
他会計補助金	1,807	2,813	△1,006	
他会計補助金	1,807	2,813	△1,006	
分担金及び負担金	1,770	3,099	△1,329	
受益者負担金	1,072	932	140	
他会計負担金	698	2,167	△1,469	

科目	令和2年度 予算額③	令和元年度 予算額④	増減 ③-④	主な増減理由
下水道事業資本的支出	2,868,181 (2,868,181)	3,019,791 (3,035,411)	△151,610 △167,230	
建設改良費	791,082 (791,082)	896,895 (912,515)	△105,813 △121,433	
固定資産取得費	2,000	756	1,244	
管渠建設費	599,760	728,516	△128,756	管渠長寿命化更新及び汚水管整備の減
施設設備改良費	67,488	45,869	21,619	処理場内配管工事の皆増
受益者負担金等業務費	4,922	4,704	218	
流域下水道建設費	65,500 (65,500)	70,000 (85,620)	△4,500 △20,120	
職員給与費	51,412	47,050	4,362	
償還金	2,076,507	2,120,572	△44,065	
企業債償還金	2,076,507	2,120,572	△44,065	償還残高減による減
返還金	92	1,824	△1,732	
社会資本整備総合交付金返還金	92	1,824	△1,732	
予備費	500	500	0	
予備費	500	500	0	

※ ()は繰越分を含む額

※令和2年度下水道事業収支差 (税込額) 収入 964,664千円 - 支出 2,868,181千円 = △1,903,517千円

◎下水道事業内部留保資金残高

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	918,616千円	1,946,266千円	2,864,882千円	1,903,517千円	961,365千円
説明	過年度分の損益勘定留保資金(前年までに発生した減価償却費、資産減耗費など)	当年度分の損益勘定留保資金(減価償却費、資産減耗費など) 当年度純利益など	R元末残高+R2発生額	補てんを要する、資本的収支不足額	差し引き、次年度に繰り越す補てん可能財源

農村下水道事業

令和2年度予算額(資本的収支) (税込)

(単位:千円)

(単位:千円)

科目	令和2年度 予算額①	令和元年度 予算額②	増減 ①-②	主な増減理由
農村下水道事業資本的収入	56,624	-	皆増	下水道事業との一元化による皆増
企業債	40,200	-	皆増	
建設企業債	40,200	-	皆増	
他会計出資金	9,353	-	皆増	
他会計出資金	9,353	-	皆増	
分担金及び負担金	7,071	-	皆増	
受益者分担金	7,071	-	皆増	

科目	令和2年度 予算額③	令和元年度 予算額④	増減 ③-④	主な増減理由
農村下水道事業資本的支出	105,115	-	皆増	下水道事業との一元化による皆増
建設改良費	70,405	-	皆増	
浄化槽設備改良費	58,800	-	皆増	
受益者負担金等業務費	3,178	-	皆増	
職員給与費	8,427	-	皆増	
償還金	34,710	-	皆増	
企業債償還金	34,710	-	皆増	

※令和2年度農村下水道事業収支差 (税込額) 収入 56,624千円 - 支出 105,115千円 = △48,491千円

◎農村下水道事業内部留保資金残高

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	0千円	48,491千円	48,491千円	48,491千円	0千円
説明	過年度分の繰越金	当年度分の損益勘定留保資金(減価償却費など) 当年度純利益など	R元末残高+R2発生額	補てんを要する、資本的収支不足額	差し引き、次年度に繰り越す補てん可能財源

※令和2年度下水道事業会計(下水道事業・農村下水道事業 合計)収支差 (税込額) 収入 1,021,288千円 - 支出 2,973,296千円 = △1,952,008千円

	令和元年度末残高	令和2年度発生額	令和2年度使用可能額	令和2年度使用額	令和2年度末残高
	918,616千円	1,994,757千円	2,913,373千円	1,952,008千円	961,365千円